

**チケット** TICKET

1日通し券:2,500円

**チケットぴあ** チケットぴあにて販売中!  
【Pコード:553-762】

- 購入方法**
- インターネット購入**  
※セブン-イレブンかファミリーマートで発券の上、ご来場ください。
  - セブン-イレブンで直接購入**  
※店内のマルチコピー機よりご購入ください。
  - 会場受付で購入** 当日13時30分より販売

**会場** VENUE

**丸ビルホール**  
東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7F  
(JR東京駅丸の内南口より徒歩1分/丸の内線東京駅および千代田線二重橋駅より直結)



**18歳以下は無料ご招待!**

対象 18歳以下の方 (2005年4月1日以降生まれの方)  
申込方法 PFF公式サイトにて、先着順に受付。  
申込締切 3月15日(金)正午 ※定員になり次第、受付終了となります。

事前申込制 先着50名様

18歳以下の若い世代の皆さんに「初めての大島渚体験」をしてもらうべく、先着50名様を本イベントに無料でご招待いたします。

主催 **PIA FILM FESTIVAL** 一般社団法人PFF

オフィシャルパートナー **ぴあ** **ホリプロ** **dentsu group** **Hakuhodo DY media partners**

特別協力 **三菱地所** **丸ビル**

オフィシャルTOPサポーター **U-NEXT** **三菱地所**

特別協賛 **CB** **スカパー!** **STAR BS10** **住友不動産** **SEGA Sammy 文化芸術財団**

協賛 **7 SEVEN&アイ HLDGS.** **MUFG 三菱UFJニコス**

協賛 **R-factory** **朝日新聞** **IXF Imaging Works** **IJ Internet Initiative Japan** **Tokyofm** **FMBQ2** **きらぼし銀行**

協賛 **KLOCK WORK** **KDDI** **CONCENT** **佐藤工業** **SPACE SHOWER** **TACHIHI** **テレビ朝日**

協賛 **DISK GARAGE** **tv asahi** **テレ東** **KOGEI** **東京テアトル** **TOKYO MX** **TOHAN**

協賛 **TOHO アーカイブ** **DOKUSO** **TOPPAN** **NIKKATSU** **BANDAI NAMCO** **FASCINATE CO.,LTD** **POOL inc.**

協賛 **フジテレビジョン** **MOALAI** **PONYCANYON INC.** **SMBC 三井住友カード** **MOVIE WALKER PRESS** **夜景検定**

協賛 アテネ・フランセ文化事業(株)/(株)伊藤園/(株)運動会屋/エイベックス・ピクチャーズ(株)/KANDO(株)/ギャガ(株)/キングレコード(株)/クエストルーム(株)/(有)スタンス・カンパニー/チケットぴあ九州(株)/チケットぴあ名古屋(株)/(株)重への扉/(株)PIVOT/(有)フォルム/(有)プレス/(有)ヴォルテージ/(株)マジックアワー/(株)みずほ銀行/(株)MOON LIGHT/(株)ロボット

**3.17(日)**

会場:丸ビルホール

**作品上映**  
14:00~  
『遠いところ』  
受賞監督作品  
16:30~  
『少年』  
大島渚監督作品

**トークショー**  
18:25~  
第5回受賞者  
**工藤将亮**  
×  
**黒沢清**(審査員長)

きみたちに伝えたい、  
大島渚スピリッツ

**第5回 大島渚賞**  
Oshima Prize 2024  
**記念上映会**

18歳以下は  
ご招待!  
先着50名様

# 第5回 大島渚賞 記念上映会

3月17日(日) 開場 13:30 開演 14:00 (19:10終了予定)

## 大島渚賞とは？

大島渚賞は、2019年に一般社団法人PFFが創設した、映画の未来を拓き、世界へと羽ばたこうとする、若くて新しい才能に対して贈られる賞です。原則、前年に発表作品があり、劇場公開作3本程度までの若手監督を対象に、各国の映画祭プログラマーやディレクター、映画人の推薦をもらい、審査員が受賞者を決定します。デビュー以来、日本社会に波紋を投じる作品をつくり続けた大島渚監督が、高い志を持って世界に挑戦していったように、それに続く次世代の監督を、期待と称賛を込めて顕彰します。また、毎年開催する記念上映会では、受賞作品と共に、大島渚監督作品も上映し、大島渚監督の魅力を次世代の観客に繋いでいきます。



## 第5回 審査員

審査員長：黒沢清監督  
審査員：荒木啓子

※第1回からの審査員長・坂本龍一氏のご逝去に伴い、これまで審査員だった黒沢清監督が審査員長を務め、荒木啓子PFFディレクターと2名で審査を行いました。

## 過去の受賞者

- 第1回：小田香監督『セノーテ』
- 第2回：該当者なし
- 第3回：藤元明緒監督『海辺の彼女たち』
- 第4回：山崎樹一郎監督『やまぶき』

## 工藤将亮

(くどう・まさあき)

1983年10月31日生まれ。京都府出身。ビジュアルアーツ専門学校大阪を卒業後、大島渚監督に憧れ、松竹撮影所に入社。森田芳光監督、石井岳龍監督、山崎貴監督らに師事する。初長編監督作『アイム・クレイジー』(19年)が第22回富川国際ファンタスティック映画祭にてNETPAC賞を受賞。長編2作目の『未曾有』(21年)がタリンブラックナイト国際映画祭Rebels with A Cause部門で正式上映。3作目となる『遠いところ』が2022年7月、第56回カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭のコンペティション部門に日本映画として10年ぶりに選出されたほか、同年の第23回東京フィルメックスで観客賞を受賞。また2024年1月、第37回高崎映画祭で新進監督グランプリ&最優秀新人俳優賞(花瀬琴音)をダブル受賞したことが発表された。

## 第5回 受賞者



世界へと飛躍する次世代の才能を顕彰する映画賞として、2019年に創設された「大島渚賞」。

第5回の受賞者は、『遠いところ』の工藤将亮監督に決定しました。記念上映会では、『遠いところ』と大島渚監督『少年』の上映に加え、工藤監督と審査員長・黒沢清監督とのトークを実施します。

黒沢監督から工藤監督への講評はもちろん、常に怒りをもって社会の問題と対峙し、既成概念と闘い、自由を追求し続けた「大島渚」という強烈な個性とスピリッツについて、お二人が熱く語ります。

映画を志す若い世代の方、必見の時間です！

### 第1部

#### 受賞監督作品上映

14:00~

## 『遠いところ』

2022年/カラー/128分

監督・脚本：工藤将亮

出演：花瀬琴音、石田夢実、佐久間祥朗、長谷川月起、松岡依都美



幼い息子を抱え、貧しさの中で必死に生きる17歳の母。青い海に囲まれた美しい島、伝統的な家族のつながり、といった沖縄のイメージを覆す、過酷な日常がリアルに映し出される。絶望しかない主人公の、観客に問いかけるようなラストシーンが胸を打つ！

© 2022『遠いところ』フィルムパートナーズ

### 第2部

#### いまこそ観たい大島渚作品

16:30~

## 『少年』

1969年/カラー/97分

監督：大島渚

出演：渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志



車に身を投げ運転手から金をせしめる“あたり屋”一家。壮絶な大人の世界を空想に逃避して生き延びる10歳の少年の孤独を描く。実際にあった事件を元に、低予算ながら全国縦断ロケを敢行した美しくも衝撃的な傑作。

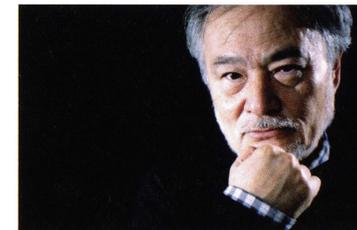
### 第3部

#### トークショー

## 工藤将亮 (第5回受賞者)

## × 黒沢清 (審査員長) ※写真

MC：荒木啓子 (PFFディレクター)



# もっと大島渚を観よう！

実はいま、大島渚監督のほぼ全作品をオンライン配信で観ることが出来ます。世界中の監督たちから敬愛される、オーシマ作品をぜひ体感してください。

## フィルモグラフィ

FILMOGRAPHY ※テレビ作品は除く

★…配信で視聴できる作品(24年2月現在)



### PROFILE

1932年、京都府生まれ。京都大学法学部を卒業し、松竹に助監督として入社。1959年『愛と希望の街』で監督デビュー。『青春残酷物語』『日本の夜と霧』などで鮮やかな技法を見せ、一躍脚光を浴びる。1961年松竹を退社し、独立プロ「創造社」を設立。1975年に「大島渚プロダクション」を設立。1976年、日仏合作映画『愛のコリーダ』が海外で高い評価を得て、1978年『愛の亡霊』で第31回カンヌ映画祭の最優秀監督賞を受賞。その後『戦場のメリークリスマス』『マックス、モン・アムール』などの海外合作映画を発表し話題を呼ぶ。2001年フランス芸術文化勲章授与。2013年に80歳で永眠。1979~88年、92年と「びあフィルムフェスティバル」の審査員を務めた。

2014年	1999年	1986年	1983年	1978年	1976年	1972年	1971年	1970年	1969年	1968年	1967年	1966年	1965年	1964年	1963年	1962年	1961年	1960年	1959年	
『NNDドキュメント、14』 『反骨のドキュメンタリスト 大島渚』忘れられた皇軍』という衝撃』 妻・小山明子氏、是枝裕和監督らが、大島渚を語る必見ドキュメンタリー	『御法度』 ルカ・グラダニノ監督談 「これまで観た中で最も素晴らしい映画」 カンヌ映画祭出品	『マックス、モン・アムール』 カンヌ映画祭出品	『戦場のメリークリスマス』 マーティン・スコセッシ監督 クリストファー・ノーラン監督が心酔 カンヌ映画祭出品	『愛の亡霊』 カンヌ映画祭監督賞受賞	『愛のコリーダ』 アリ・アスター監督に影響を与えた一本 カンヌ映画祭出品	『夏の妹』 ヴェネチア映画祭出品	『儀式』 テオ・アングエロ・ロス監督が熱烈に支持 カンヌ映画祭出品 キネマ旬報ベスト・テン第一位	『東京戦争戦後秘話』 ヴェネチア映画祭出品	『絞死刑』 カンヌ映画祭出品	『帰って来たヨッパライ』 『新宿泥棒日記』 『少年』 ヴェネチア映画祭出品	『無理心中 日本の夏』 審査員長・黒沢清監督のフイバリット 大島作品	『日本春歌考』 『忍若武芸帳』 『白昼の通り魔』 『悦楽』 『ユンホギの日記』 『私はベレット』 『小さな冒険旅行』 ヴェネチア映画祭児童映画部門銀獅子賞	『天車四郎時貞』 『飼育』 『日本の夜と霧』 『青春残酷物語』 『太陽の墓場』 『青春残酷物語』 『愛と希望の街』 (原題「鳩を売る少年」)	『愛と希望の街』						

← (1979~88年、92年にPFFの審査員を務める) →